

## お客様/SE 様が保守員と作業を分担して無停止アップデートを行う場合に ご了承くださいたいこと

2021 年 2 月 第 1 版  
日本電気株式会社

お客様や SE 様が、保守員と作業分担して無停止アップデートを行う場合に、あらかじめご確認、ご了承くださいたいことについて、ご説明します。

以下の内容をご理解、ご了承くださいたいうえで、ご署名をお願いいたします。

ご了承くださいない場合は、無停止アップデートの作業をお断りさせていただきます。

ご署名 : \_\_\_\_\_

### ・ お客様や SE 様が業務サーバから作業を行う場合に無停止アップデートが可能となるシステム構成

- ◎ : 保守員により無停止アップデートが可能な業務サーバ  
○ : お客様や SE 様の作業により無停止アップデートが可能となる業務サーバ  
× : 無停止アップデートを行う際には事前に停止する業務サーバ

対象 OS と業務サーバの条件	マルチパスソフトウェア		
	SPS	OS 標準機能	その他
VMware ESXi			
I/O パス切り替えツール(prevent_hd)を使用する	◎ ※1	○	×
I/O パス切り替えツール(prevent_hd)を使用しない	◎	×	×
Windows			
Agent Utility をインストールしている	◎	◎	×
Agent Utility をインストールしていない	○	×	×
Linux			
Agent Utility をインストールしている	◎	◎	×
Agent Utility をインストールしていない	○	×	×

※1 : マルチパスソフトウェアとして SPS をインストールしている業務サーバの環境では、  
I/O パス切り替えツール(prevent\_hd)を使用することなく、無停止アップデートが可能です。

対象 OS、およびマルチパスソフトウェアの詳細は、以下のアップデートガイドに記載されている「表 無停止アップデートが可能な OS とマルチパスソフトウェアの組み合わせ」を、ご確認ください。

「iStorage M シリーズ ストレージ制御ソフト アップデートガイド  
システム構成確認手順 M10e,M100,M300,M500,M700,M5000」

・ **お客様や SE 様が業務サーバから行う作業**

- ・ 接続経路(以降、「接続パス」と記載)の冗長性・正常性の確認
- ・ 接続パスの切り替え（片寄せ、片寄せからの復帰）の作業
- ・ その他、業務サーバから行う作業



**重要** お客様や SE 様が業務サーバから行う作業に付随して、業務サーバで発生するすべての事象について、保守員は責任を負いかねることをご了承ください。  
作業を行うお客様や SE 様がすべての責任を負うことをご理解のうえ、作業を行ってください。

お客様/SE 様の責任事象となる例

- ・ 接続パスのパス冗長性確認に漏れがあり、無停止アップデートの際に業務システムでエラーが発生した。
- ・ 接続パスの切り替えが不完全で、無停止アップデートの際に業務システムが停止した。

接続パスの冗長性・正常性の確認や、接続パスの切り替えなどの業務サーバから行う作業や手順の内容については、以下のアップデートガイドを参照して、ご確認ください。

「iStorage M10e,M100,M300,M500,M700 ストレージ制御ソフト アップデートガイド  
VMware 環境対応版」

「iStorage M10e,M100,M300,M500,M700 ストレージ制御ソフト アップデートガイド」

「iStorage M10e,M100,M300,M500,M700 BIOS/BMC アップデートガイド」

「iStorage M5000 ストレージ制御ソフト アップデートガイド」

「iStorage M5000 BIOS/BMC ファームウェア アップデートガイド」

- ・ アップデートの準備
  - ホスト接続ポートの事前確認
  - I/O パスの冗長構成の確認
- ・ コマンドによる無停止アップデート、および 無停止ロールバック
  - ホストポートの確認
  - I/O パスの冗長構成の確認
  - I/O パスの片寄せ、切り戻し
  - ボリューム対応表の更新

なお、お客様や SE 様が保守員と作業を分担して無停止アップデートを行う場合の作業時間は、お客様や SE 様が業務サーバから行う作業に要する時間を、別途、お見積りいただき、「作業時間」として提示されている時間と合算してください。

以上